



ウチエのシャワー車椅子
シャワーラクリクSAL

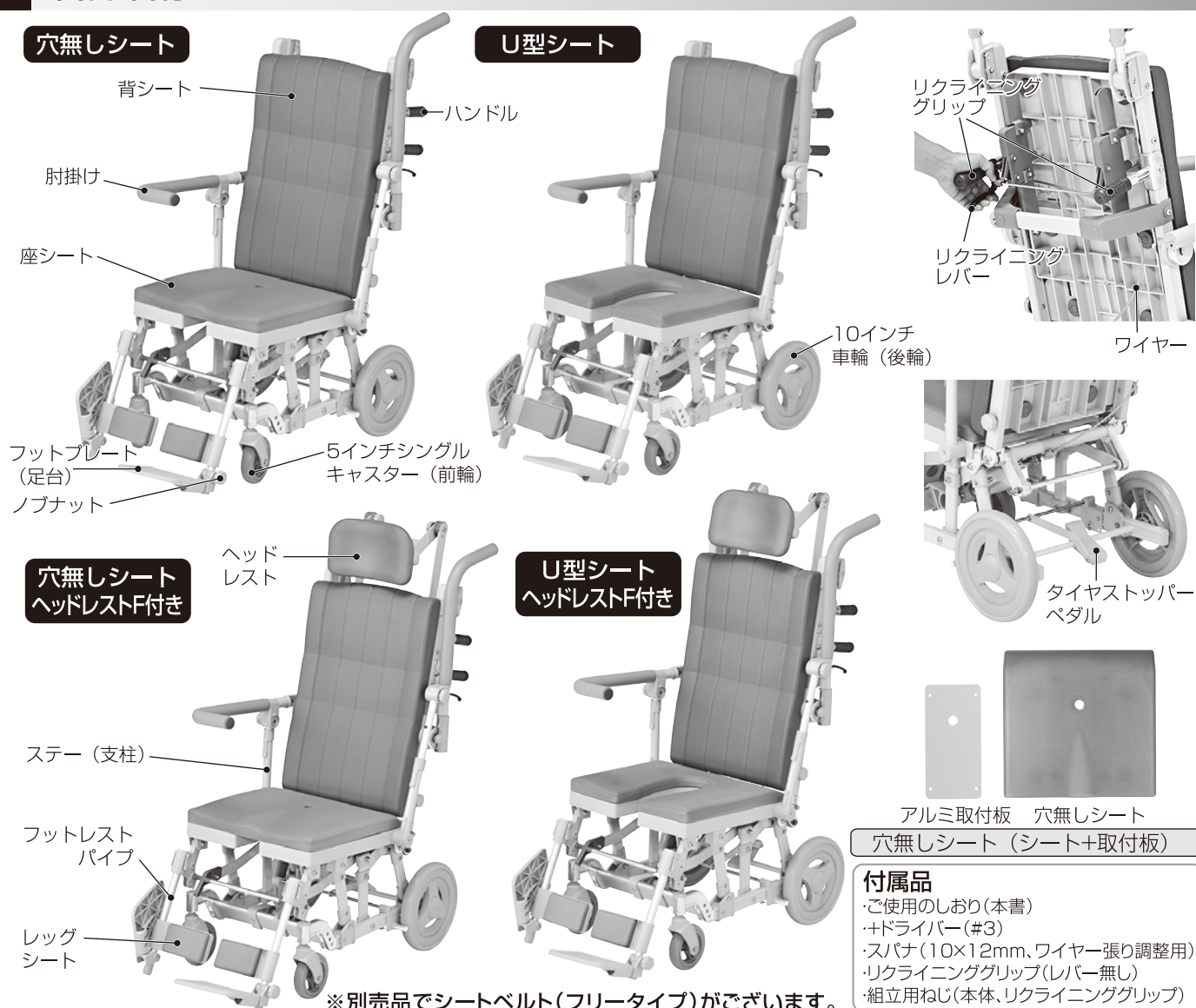
ご使用のしおり

品番：SRC007 （穴無しシート）
SRC008 （穴無しシート/ヘッドレストF付き）
SRC009 （U型シート）
SRC0010 （U型シート/ヘッドレストF付き）

**最大使用者体重
100kg 以下**

このたびは、弊社の『シャワーラクリクSAL』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・本書は必ず保管しておいてください。
・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
・お買い上げのシャワー車椅子は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称



※別売品でシートベルト(フリータイプ)がございます。

仕様

材質	・本体/アルミニウム合金、アルミダイカスト成形品、ステンレス ・ハンドル/ポリアミド、PVC ・背、座、レッグシート/EVA ・肘掛け/ポリアミド、EVA ・ガスシリンダー/ステンレス ・前輪タイヤ/天然ゴム ・後輪タイヤ/PU(発泡) ・リクライニングレバー/アルミ ・ワイヤー/ステンレス
重量	約20.5kg (ヘッドレストF付き：約22.5kg)
車輪	前輪/5 インチ ・後輪/10 インチ

サイズ

単位：cm

全幅	55.5	前座高	44(42.5)	前座から足台	44(39.5)
全長	103.5(143)	座幅(肘～肘)	44	リクライニング角度	約101～132°
全長(フットレストなし)	79(111)	座シート奥行	40(41)	背もたれ幅	41
全高	101.5(82.5)[111(87)]	肘から前座	25.5(24.5)	背もたれ高さ(後座から)	62

※()は最大リクライニング時、[]はヘッドレストF付き時(ヘッドレスト最低高さ)

ご使用にあたって

- ・シャワー浴用に設計されています。浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。
- ・室内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・硫黄系の入浴剤や、温泉をかけての使用はしないでください。温泉の泉質によっては、塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となりますので、ご注意ください。
- ・入浴剤入りのお湯をかけると、車輪の回転などの動きが悪くなる可能性があります。

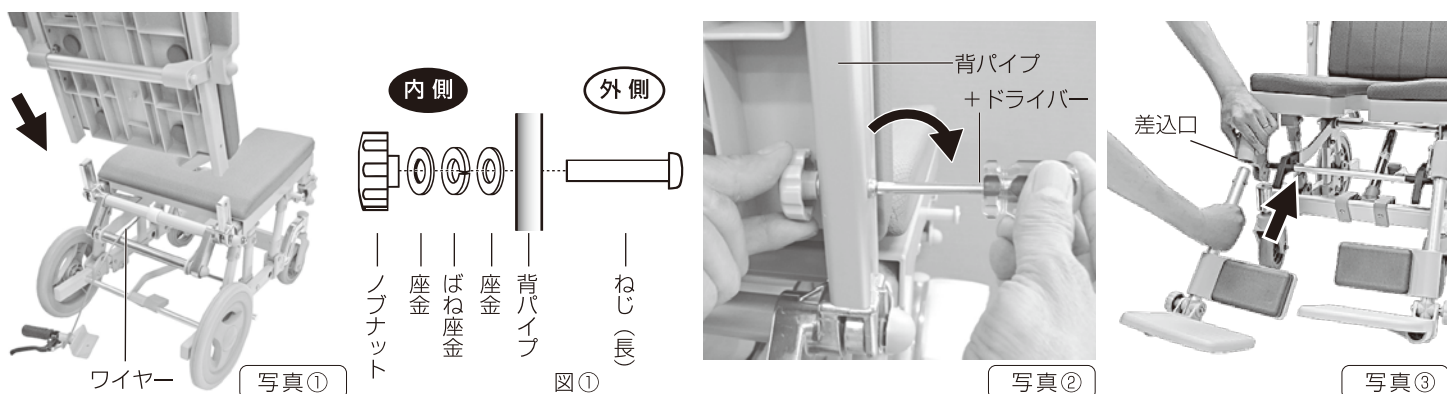
部品の確認

●開梱後、下記の部品がすべてそろっているか、また、破損していないか確認してください。万一不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店、または弊社までご連絡ください。



組立用ねじ(本体)×2	ねじ(長)
リクライニンググリップ×1 (レバー無)	座金
	ばね座金
	座金
	ノブナット
組立用ねじ (リクライニンググリップ)×2 [レバー付き、レバー無]	ねじ(短)
	座金
	ばね座金
	座金

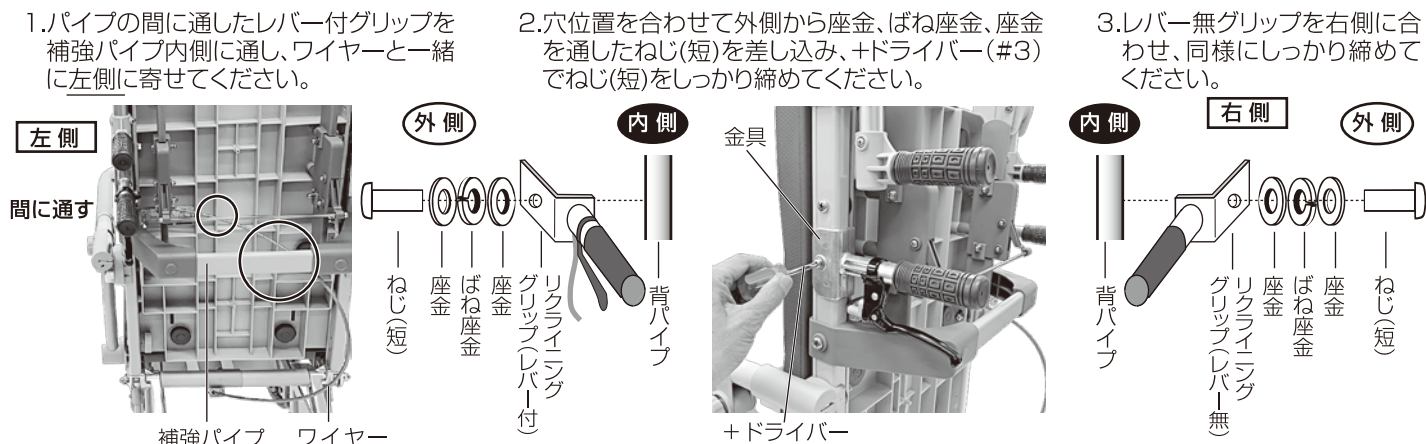
組立の仕方



1. ワイヤーがフレームに引っ掛からないように注意しながら、下部の凸部に上部の差込部を合わせて上部をしっかりと差し込んでください。(写真①)
2. 穴位置を合わせて外側からねじ(長)を差し込み、差し込んだねじ(長)に座金、ばね座金、座金を通してノブナットを合わせ、+ドライバーでねじ(長)をしっかりと締めてください。(図①、写真②) 反対側も同じようにしっかりと締めてください。
3. フットレストパイプを差込口に当て、そのままカチッと音がするまで上に差し込んでください。(写真③)
4. 使用の状態に応じて、操作がしやすいようにハンドルの向きを変えてください。(P6 参照)

● リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)の取り付け

・リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)は左側しか付きません。
・ワイヤーはレバー付きグリップを取り付ける側に寄せてください。

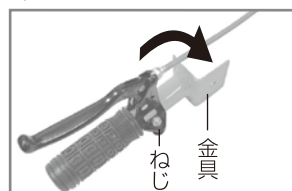


⚠ 注意

※組立後、次のことを確認してください。

- ・上部と下部はしっかり取り付けられていますか？
- ・ワイヤーがフレームなどに引っ掛かっていませんか？
- ・フットレストパイプは引っ張っても抜けませんか？
- ・リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)はしっかり取り付けられていますか？

※リクライニンググリップ(レバー付、レバー無)取付ねじがゆるんだ場合はしっかりと締めてください。



レバー付グリップを右側に取り付ける際は金具が外向きになるようにグリップの向きを変え、レバー取付ねじをゆるめてレバーを下向きにし、再度ねじを締めてください。

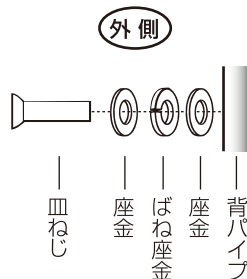
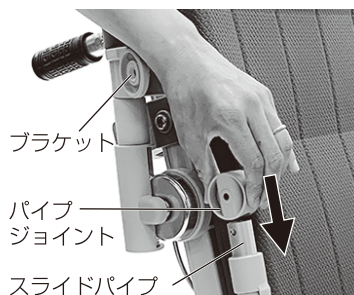
分解の仕方

1. リクライニングレバーを握り、背シートを完全に起こしてください。(P6 参照)
2. リクライニンググリップ(レバー付)を取り外し、『組立の仕方』と逆の手順で分解してください。(P2 参照)

⚠ 注意 ※分解後はワイヤーが引っかからないように保管してください。
※外した部品は紛失しないように保管してください。

肘掛けの取り付け方

1. 肘掛け下のブラケットにあるノブナット、皿ねじを外して中にあるパイプジョイントを取り出し、スライドパイプにねじ穴を合わせ差し込んでください。
2. パイプジョイントの上にブラケットをかぶせ、ねじ穴位置を合わせて内側から皿ねじを差し込み、差し込んだねじに座金(大)、ばね座金、座金(小)を通してノブナットを合わせ、+ドライバーでねじをしっかりと締めてください。反対側も同じようにしてください。



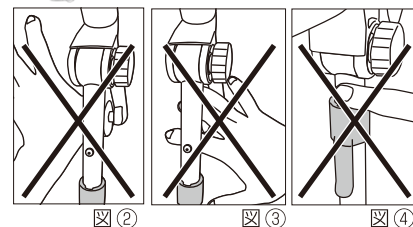
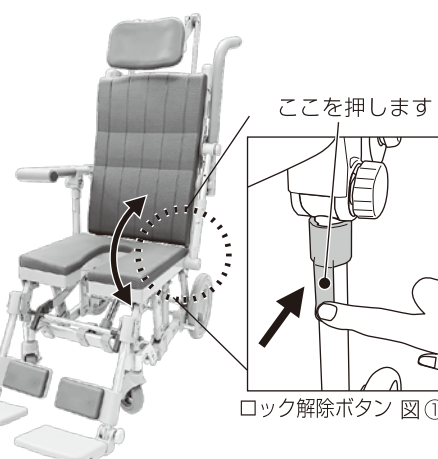
肘掛けは左右ともはね上げ式になっております。

1. 支柱パイプにあるロック解除ボタン(図①)を押してロックを解除し、肘掛けをはね上げます。
2. はね上げた肘掛けを下ろす際は、ロックが掛かるまでしっかり下ろしてください。

※肘掛けを上から押すだけでロックは掛かります。

⚠ 注意

- ※乗車中は、必ず前方グリップを外側に開いてからはね上げ、下ろす操作をしてください。前方グリップを閉じたままではね上げ、下ろす操作をすると使用者に前方グリップが当たります。
- ※肘掛けをはね上げ、下ろす際に可動する肘掛けと本体のすきま(図②)、支柱パイプと肘掛け取付部品とのすきま(図③)、可動する支柱パイプ(図④)などで手や指をはさまないように注意してください。
- ※はね上げた肘掛けを他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※乗車中は、必ず肘掛けを下ろして使用してください。
- ※使用者を乗せたまま肘掛けを持って移動しないでください。ロックが破損し、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※肘掛けに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

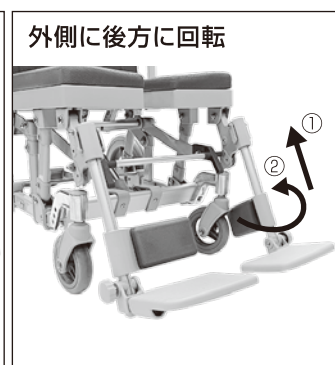
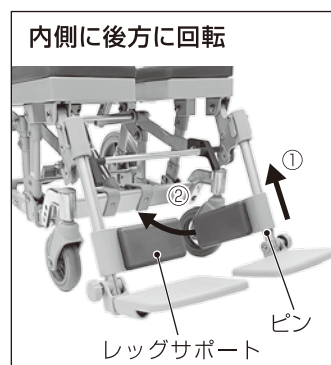


レッグサポートの可動

- ・レッグサポートは、上げて後方に回転させる事ができます。
- ・さらにフットプレートもはね上げると、移乗の際にじゃまになりません。

⚠ 注意

- ※レッグサポートを可動する場合は、必ずピンよりレッグサポートを上げて後方に回転させてください。無理に回転させると、破損、故障するおそれがあります。
- ※本体を動かす場合は、必ずレッグサポートを戻してください。レッグサポートが後方に回転したまま動かすと、前輪に干渉し、破損、故障するおそれがあります。

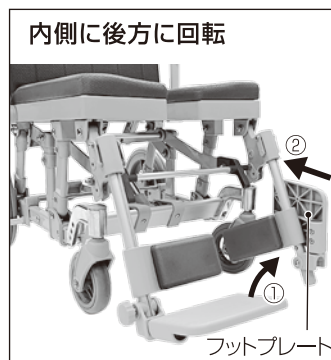


フットプレートのはね上げ

- ・フットプレートは横にはね上げ、後方に回転させることができます。
- ・さらにレッグサポートも上げて後方に回転させると、移乗の際にじゃまになりません。

⚠ 注意

- ※乗り降りされる際は、必ず両側のフットプレートをはね上げてください。
- ※フットプレートの上ののって乗り降りしないでください。転倒、破損の原因となります。
- ※シャワー車椅子に乗られた際や走行中は、必ずフットプレートに足を乗せてください。



肘掛けの取り扱い方

- ・肘ロックの上部を押してロックを解除し、肘掛けをはね上げます。(写真①) 肘掛けのステー(支柱)は、折りたたむことができます。(写真②) 座ったままでの身体の方角転換や、浴槽などへの横移乗ができます。
- ・肘掛けをロックする際は、ステーを写真①の状態に戻し、肘ロックを肘掛け受けにはめ込んでください。

※肘掛けを上から押すだけで、肘ロックはカチッとかかります。

⚠ 注意

- ※肘掛けのステーを折りたたんだ場合(写真②)、必ずステーを写真①の状態に戻してから、肘掛け受けにロックをしてください。
- ※指詰めにご注意ください。
- ※使用時には必ず肘ロックをロックしてください。ロックがされていないと肘掛けが外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※使用者を乗せたまま、肘掛けを持って移動しないでください。肘ロックが破損し、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。肘ロックが肘掛け受けから外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※はね上げた肘掛けは後方へ回転しますので、寄りかからないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。



ステー(支柱)

写真①



写真②

前方グリップの取り扱い方

- ・ご利用の際に握り、安心、安全です。

●前方グリップを開く場合

前方グリップを外側に回転させると開きます。(写真①)
移乗時や体を洗う際にご使用ください。

●前方グリップを閉じる場合

前方グリップを内側に回転させると閉じます。(写真②)
走行中や乗車中に握ってご使用ください。

⚠ 注意

- ※立ち座りの際は、次の事に注意してください。
 - ・肘掛けを内側や外側に回転させるような使用はせず、肘掛けを垂直に押すように使用してください。不意に肘掛けが回転し、転倒、けがをするおそれがあります。
 - ・前方グリップの片側だけに荷重を掛けたり、前方グリップを手すり代わりにして横方向に力をかけないでください。また、前方グリップに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※使用者が前方グリップを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ※前方グリップを閉じたまま立ち上がらないでください。
- ※乗車中は、前方グリップを閉じて使用してください。
- ※乗車中は、前方グリップを持った状態で前のめりにならないでください。バランスを崩し、転倒の原因となります。
- ※前方グリップを無理に引っ張ったり押さないでください。クッションが破損するおそれがあります。
- ※使用者を乗せたまま前方グリップを持って移動したり、前方グリップをハンドル代わりにして本体を操作しないでください。



写真①



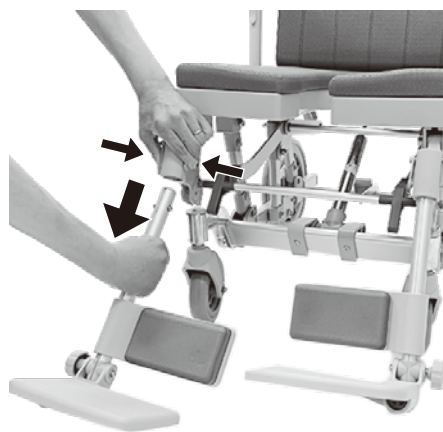
写真②

フットレストパイプの取り扱い方

フットレストパイプは取り外し可能です。ご利用に合わせて着脱してください。

●取り外し方

1. 片側の解除スイッチを内側と外側から親指と人差し指で挟んで押し込みながら、フットレストパイプを下に少しずらします。
2. もう一方も同じ手順でフットレストパイプを下に少しずらします。
3. 床に当たらないように両手でフットレストパイプをゆっくり引き抜いてください。(写真①)



写真①

●取り付け方

フットレストパイプを差込口にあて、そのままカチッと音がするまで上に差し込んでください。(写真②)



写真②

⚠注意

※フットレストパイプを抜いて乗り降りする際は座面の前端部に荷重を掛けないでください。後輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒するおそれがあります。前輪が後ろ向きの場合は特に注意してください。

※フットレストパイプを取り付けた際は、引っ張ってもパイプが抜けないか確認してください。

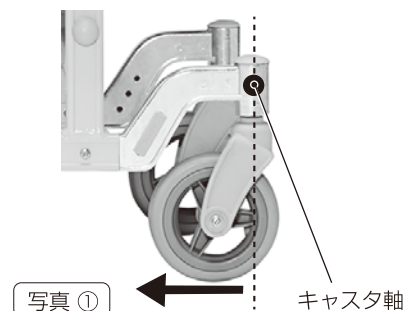
※シャワー車椅子に乗られた際や走行中は、必ずフットプレートに足を乗せてください。

フットレスト連動解除の仕方

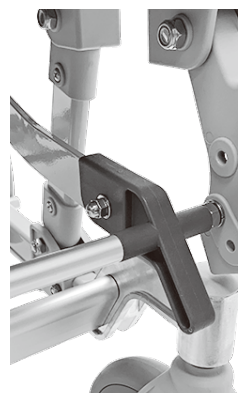
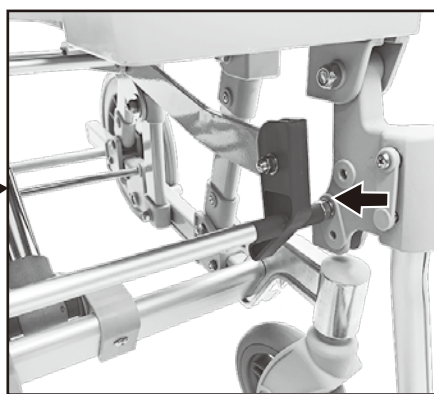
フットレストはリクライニング時に連動して上昇します。連動を解除することも可能です。

●連動解除の仕方

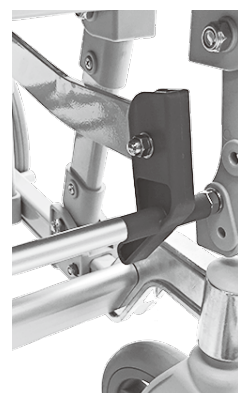
前輪をキャスタ軸より後方に向けてください。(トレーリングポジション、写真①)
解除レバーを両手で持ち、左右同時にレバー下側を奥に入れるように押します。



解除レバー



連動状態



連動解除状態

●連動の仕方

解除レバーを両手で持ち、左右同時にレバー下側を手前に起こします。

⚠注意

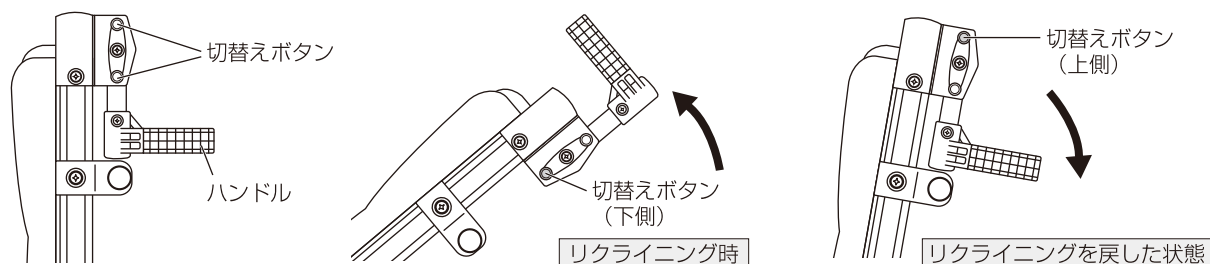
※連動解除を行う時は必ず、前輪をキャスタ軸より後方へ向けてください。前輪をキャスタ軸より前方へ向けた状態でリクライニングを戻すとフットレストが前輪に接触し、破損するおそれがあります。

※解除レバーの操作は必ず左右同時におこなってください。

※手や指をはさまないように注意してください。

ハンドルの切替え方

- ・リクライニング時に操作がしやすいように、ハンドルの向きが変えられます。カチッと音がするまでハンドルを回転させてください。
- ・リクライニング時は、ハンドル横の切替えボタン(下側)を内側と外側から指で挟んだまま、ハンドルを上回転させて向きを変えます。
- ・リクライニングを戻した際は、ハンドル横の切替えボタン(上側)を内側と外側から指で挟んだまま、ハンドルを下回転させて向きを変えます。



⚠ 注意

※ハンドルの向きを変えた後は、ロックがしっかりとかかっているか確認をしてください。

リクライニングの仕方

- ・リクライニングレバーを操作することで、背もたれ角度を約101°～132°の範囲で無段階に調整ができます。
- ・レバーを離せばその角度で固定されます。
- ・リクライニング操作に合わせて座面が前に移動し、さらに座面が下がる事で重心を安定させます。また、最大リクライニング時は座面先端が上がり、ご利用者の前ズレを予防します。
- ・フットレストは連動します。

1. タイヤストッパーペダルを踏み、後輪を固定してください。
2. リクライニングレバーを握りながら、左右のリクライニンググリップを下に押すように力を加えて背もたれを倒します。
背もたれを起こす場合は、リクライニングレバーを握りながら左右のリクライニンググリップを引き上げるように力を加えます。



※必要に応じてハンドル切替えボタンを押し、ハンドルの向きを変えてください。

⚠ 注意

- ※リクライニング操作の際は必ず後輪タイヤをロックしてください。不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※リクライニング操作の際は使用者を座面の奥までしっかり座らせてください。また、介助者は左右のリクライニンググリップから手を離さずにゆっくり操作してください。不意に座面が傾き、転倒するおそれがあります。
- ※リクライニングレバーはしっかり握ってください。握りが不十分だと背もたれの角度調節ができません。
- ※必ずリクライニングレバーを握って操作してください。無理に背もたれを倒すと、破損、故障するおそれがあります。
- ※リクライニング操作時は使用者が車椅子からずり落ちたり、座と背のあいだなど可動部に身体がはさまれないよう使用者の状態に注意してください。
- ※背もたれとフットレスト、レッグレストは連動します。リクライニング操作の際は足の位置も確認しながら操作してください。
- ※リクライニング操作の際は両側のグリップをしっかり握り、左右均等に力を入れてください。
- ※ヘッドレストやワイヤーを握ってリクライニング操作をしないでください。
- ※背もたれを倒した状態で使用者の上体を起こさないでください。転倒、転落するおそれがあります。
- ※背もたれを倒した状態で背もたれの上に乗らないでください。バランスを崩し、転倒、けがをするおそれがあります。また、破損するおそれがあります。
- ※乗り降りする際は、背もたれを完全に起こしてください。
- ※リクライニングした状態で走行しないでください。
- ※車椅子を動かす際はハンドルを握って操作してください。リクライニンググリップを持って操作しないでください。

ヘッドレストの取り扱い方

ヘッドレストはかんたんに取り外すことができます。

●取り外し方

ヘッドサポートを持ち、上にスライドさせます。
かんたんに取り外しができます。

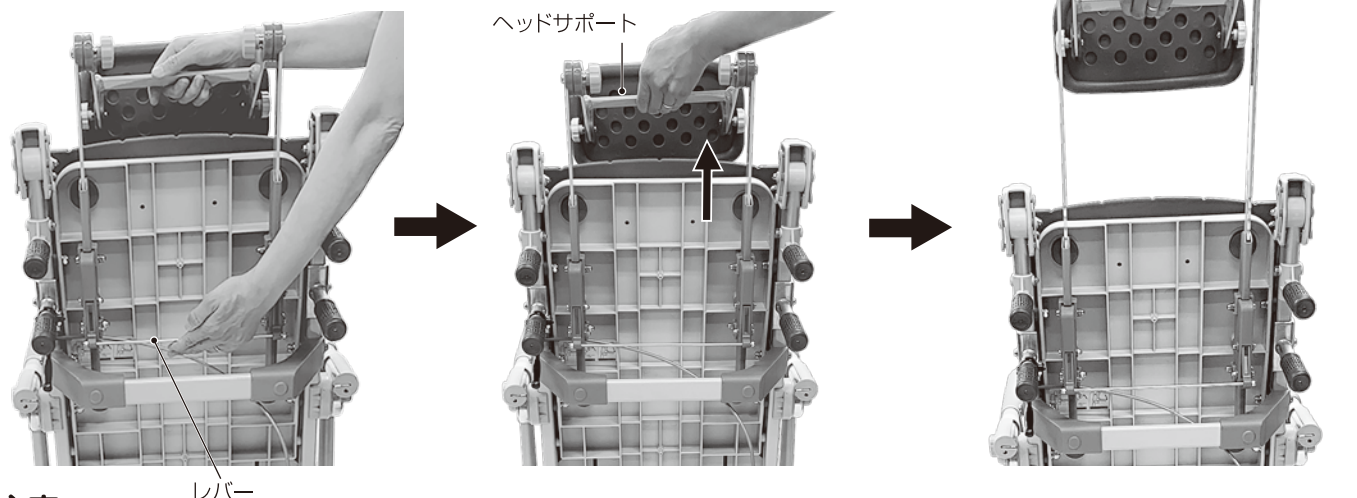
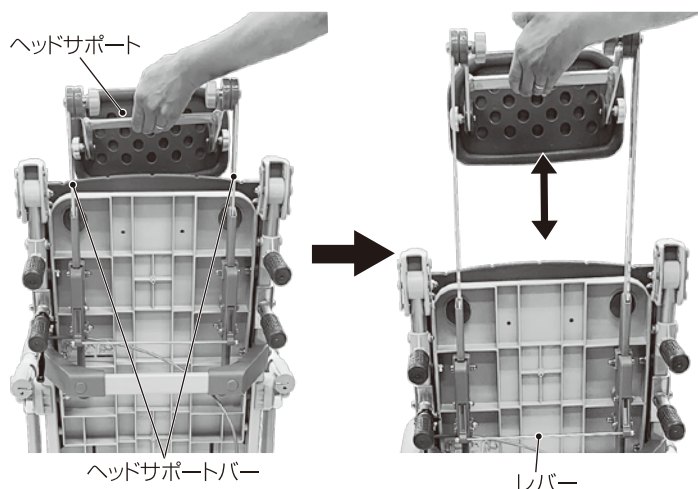
●取り付け方

左右のヘッドサポートバーを持ち、本体に差し込みます。レバーを押し、ヘッドサポートバーを下げて取り付けます。

●高さ調節の仕方

・約1.5cm刻みの10段階調節ができます。

- 1.レバーを押し、ヘッドサポートを一番下までスライドさせます。
- 2.ヘッドサポートを持ち、上にスライドさせ、お好みの高さに調節します。
高さが上がり過ぎた場合は、レバーを軽く押し、ヘッドサポートを下げてください。

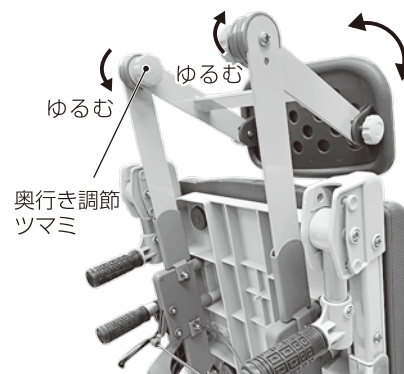


⚠注意

- ※取り付け、調節後はヘッドサポートがしっかり固定されているか確認してください。
- ※ヘッドレストはフリーのため、ヘッドレストを持ち上げると本体から抜けてしまいます。必要な時以外は触らないでください。
- ※ヘッドサポートレバーを持って車椅子を持ち上げたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ※押手として使用しないでください。

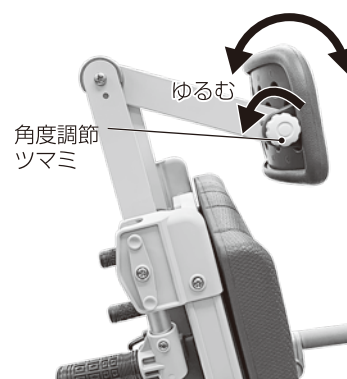
●奥行調節の仕方

- 1.奥行調節ツマミ(2ヶ所)をゆるめ、ヘッドサポートの奥行を使用する位置に調節してください。
- 2.調節後、奥行調節ツマミをしっかり締め、ヘッドサポートが固定されていることを確認してください。



●角度調節の仕方

- 1.角度調節ツマミ(2ヶ所)をゆるめ、ヘッドサポートの角度を使用する位置に調節してください。
- 2.調節後、角度調節ツマミをしっかり締め、ヘッドサポートが固定されていることを確認してください。



⚠注意

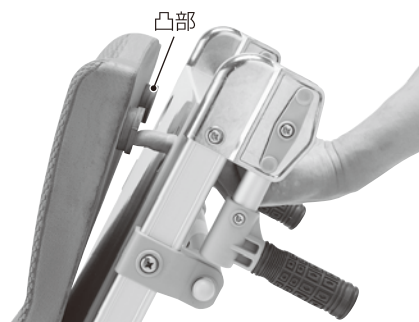
- ※各調節後は、ヘッドサポートがしっかり固定されているか確認してください。
- ※ヘッドサポートを持って車椅子を持ち上げたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ※押手として使用しないでください。
- ※お手入れの際は中性洗剤をお使いいただき、塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

ソフトシート(背シート・座シート・レッグシート)の交換

※背シートと座シートは当たらないように少しリクライニングをしてから、取り外し、取り付けを行ってください。

●取り外し方

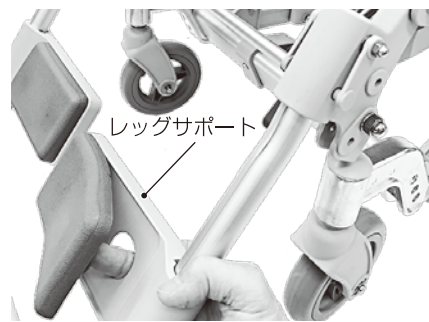
・背もたれや座面、レッグサポートの裏側からソフトシートを押して、取り外します。



背シート



座シート



レッグシート

⚠注意

- ※頻繁にソフトシートを取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※ソフトシートを取り外す際は、必ず背もたれや座面、レッグサポートの裏側からソフトシートを押して、取り外してください。
- ※ソフトシートを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。ソフトシートが裂ける場合があります。
- ※ソフトシートは消耗品です。汚れたり破損した場合はお買い求めの上交換してください。

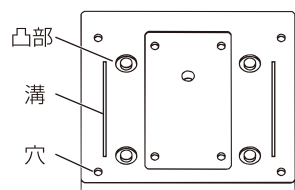
●取り付け方

・ソフトシート裏面の凸部を、背もたれや座面、レッグサポートのそれぞれの穴に合わせ、上からしっかり押して取り付けます。

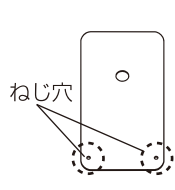
⚠注意

- ※ソフトシートがしっかり固定されているか確認してから使用してください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ※座面シートの水抜き穴に指を入れないでください。指が抜けなくなったり、けがをするおそれがあります。

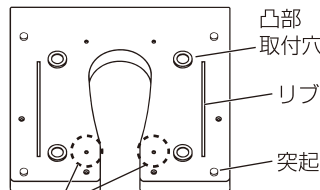
U型→穴無しシートへの交換



・穴無しシート (裏)



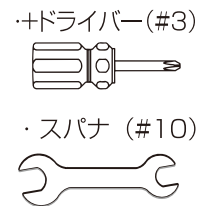
・アルミ板



取付穴 (2ヶ所) ・座受け

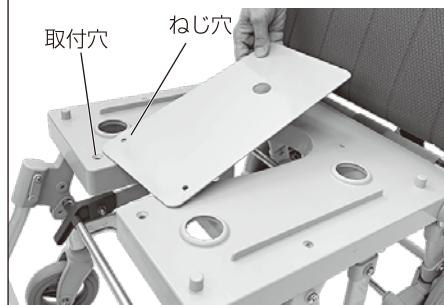


ねじ一式 x 2

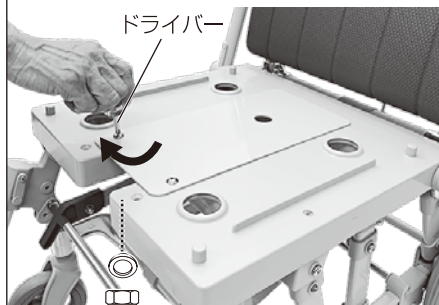


使用工具

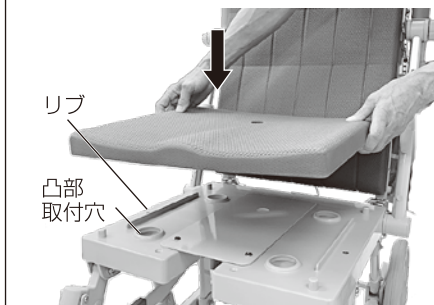
1. アルミ板のねじ穴と座受けの取付穴を合わせ、アルミ板を座受けに置いてください。



2. アルミ板に通したねじに座金とナイロンナットを取り付け、#3のドライバーと#10のスパナでしっかり締めてください。(2ヶ所)



3. 穴無しシート裏面の凸部と溝を座面の凸部取付穴とリブにそれぞれ合わせ、上からシートを押しつけてください。



⚠注意

- ※アルミ板取付後はアルミ板が座受けに固定されているか確認してください。
- ※シート取付後は凸部がしっかりはまり、固定されているか確認してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

・穴無しシートから U 型シートへ変更する場合は、#3のドライバーと#10のスパナを使用してねじとナイロンナット、座金を取り外し(2ヶ所)、アルミ板を取ってから、U型シートを取り付けてください。

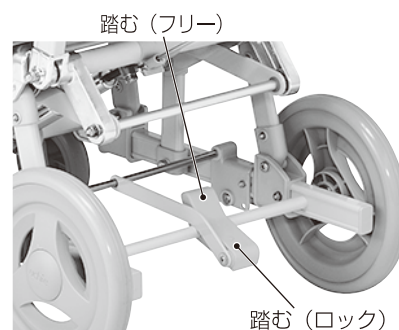
車輪の固定、解除

10インチ車輪(後輪)

- ・ストッパーペダルの手前を踏むと、ロックがかかります。
- ・ストッパーペダルの奥を踏むと、ロックが解除(フリー)します。

⚠ 注意

- ※移乗、停車、入浴、背もたれの角度調節をする際は、必ず後輪タイヤをロックしてください。不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※ロックをしていても本体に強い力が加わったり後輪と床との相性で本体が動く場合がありますので注意してください。
- ※ストッパーペダルを踏み抜くなど、ストッパーペダルにあまり強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

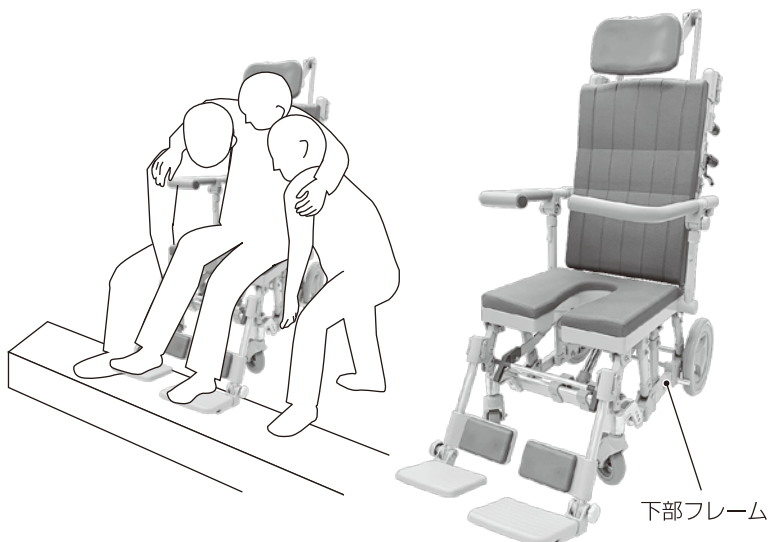


段差越えの仕方

- ・使用者をのせたまま段差を乗り越える際は背もたれを完全に起こし、2人以上で車椅子を水平に保ちながら、下部フレームを持ち上げてください。

⚠ 注意

- ※持ち上げる際は手を挟まないよう注意してください。
- ※無理に前輪上げをしないでください。
- ※ハンドルを持ち上げて後輪を浮かせながら段差を越えないでください。破損、故障するおそれがあります。
- ※クライニングしている状態では、車椅子を持ち上げないでください。
- ※持ち上げる際は、肘掛け、フットレスト、ハンドル、座受けなどは持たないでください。



お手入れの方法

- ・ご使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジや布で拭き、その後やわらかい布などで乾拭きしてください。
- ・ご使用後は、日陰の通気性の良い場所で乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
- ・車輪にほこりが付着すると、きしむ事があります。その際はミシン油を少量注油してください。むやみに注油されますとほこりが付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。
- ・ソフトシートは消耗品です。汚れたり破損した場合はお買い求めの上交換してください。

⚠ 注意

- ※ご使用後は必ず乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
- ※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
- ※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
- ※60度以上の熱湯をかけないでください。EVA、樹脂部品等が変形、劣化し、破損、けがの原因となります。

定期点検の実施

安心、安全にお使いいただくために定期的に点検を実施してください。

点 検 項 目	対 処
車輪やキャスターにがたつきやひび割れなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
車輪のロックがかかりますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
背、座、レッグシートにキズや汚れなどはありませんか？	損傷が激しい場合はお買い求めの上交換してください。
ねじはゆるんでいませんか？	ゆるんだねじを締めてください。ねじが締まらないなど異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
ワイヤーのほつれ、切れなどはありませんか？	ワイヤーに切れなどの異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
リクライニング操作がスムーズにできますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
ガスシリンダーから多量のオイル漏れはありませんか？	すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠ 注意

- ※車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

！ 安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品は全介助が必要な方を対象にした商品です。使用する際は必ず介助者が付き添い、介助者が操作してください。
- 室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 浴槽に沈めての使用（中間浴）はしないでください。
- 温泉水や硫黄系の入浴剤をかけての使用はしないでください。腐食による破損、けがをするおそれがあります。
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損、事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 本製品は1人用です。2人以上で使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・ 戸外 ・ 直射日光のあたる場所 ・ 冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・ ストープなど火気の近く ・ 高温多湿、低温な場所 ・ 風通しの悪い場所
- 乗り降りされる際は次のことに注意してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
 - ・ 後輪タイヤをかならずロックしてください。
 - ・ 肘掛けや座面の片側だけに手をついたり、肘掛けを手すり代わりにして横方向に力をかけないでください。
 - ・ 座面の前端部に荷重を掛けしないでください。後輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒するおそれがあります。前輪が後ろ向きの場合は特に注意してください。
 - ・ 必ずフットプレートをはね上げてください。フットプレートの上のって乗り降りしないでください。
 - ・ 平坦な場所で行ってください。傾斜のある場所では乗り降りしないでください。
 - ・ 介助者が使用者をしっかり支えてください。
- 本体を持ち上げる際はハンドル、肘掛け、前方グリップ、レッグサポートやフットレスト、ヘッドレストなどを持たないでください。
- 本体を持ち上げる際は座面を水平にし、使用者が転落しないように注意してください。
- 段差のあるところでは下部フレームを2人以上で持ち上げてください。前輪上げは出来ません。
- 肘掛けや背もたれなど、座面以外に腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 座面の上にとったり、リクライニング状態の背シートに腰掛けたり立たないでください。また、上がったレッグサポートに乗らないでください。転倒、破損、けがをするおそれがあります。
- 背もたれを倒した状態で使用者の上体を起こさないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 使用者がハンドルを支えにしての移動や、立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 本製品に座ったまま前方の地面に置いてある物を拾うなどの、強い前傾姿勢をとらないでください。車椅子ごと転倒し、けがをするおそれがあります。
- 車椅子に乗った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに無理な荷重を掛けしないでください。転倒するおそれがあります。
- 肘掛けや背もたれを、ななめや他方向から押さないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 脊椎損傷など症状で座位が保てない、左右片方に体が傾く方は、本体が横に倒れるおそれがあります。必ず介助者が付き添ってください。
- フットレストパイプは必ず取り付けて使用し、走行中はフットプレートに足を必ず乗せてください。けがをするおそれがあります。
- ボルトやねじがゆるんだまま使用しないでください。本体が壊れてけがをするおそれがあります。ボルトやねじが締まらない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- この商品はストレッチャーと違い、病院内の移動の目的の商品でなく、お風呂のみの使用となります。
- 移乗、停車、入浴、背もたれの角度調節をする際は、必ずタイヤストッパーペダルを踏んで後輪をロックし、本体が動かない事を確認してください。ロックがされていないと不意に本体が動き、転倒、けがをするおそれがあります。
- リクライニング操作をする際は必ずリクライニングレバーを握って操作してください。無理に操作すると、破損、故障するおそれがあります。
- ガスシリンダーに多量の油漏れが発生した場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理をご依頼ください。
- 踏み台の代わりとして座面の上に立つ、本製品に物を載せて運ぶなど、『シャワー車椅子』以外の用途で使用しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ハンドルや背もたれ、ヘッドレスト、リクライニングレバー、前方グリップ、肘掛け、フットプレートなどに重いものを引っ掛けしないでください。破損、転倒するおそれがあります。
- 走行中に身体を乗り出さないでください。
- リクライニングレバーを握りながら走行しないでください。また、走行中はリクライニング操作をしないでください。
- 背もたれの角度を調節する際は、可動部で身体や衣服などを挟みこまないよう注意してください。また、周囲に障害物がないか確認してください。角度を変えると全長が変わり、壁や家具などを傷つけるおそれがあります。
- 車輪を固定したまま押さないでください。破損、故障のおそれがあります。
- ヘッドレストを持って車椅子の移動や背もたれの角度調節をしないでください。
- ヘッドレストを持ち上げたり無理な力を加えないでください。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、車輪を固定しても本体が動く場合がありますので注意してください。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをするおそれがあります。
- Pタイルやフローリングなど硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 傾斜のある場所では駐車しないでください。ロックをかけても動く場合があります。
- 肘掛けを使用する際は必ず肘ロックをしてください。肘ロックがされていないと不意に肘掛けが外れ、危険です。
- 肘掛けをはね上げたり下ろす際に、腕や手、指など身体をはさまないように注意してください。
- 車椅子を操作、調節する際はゆっくり動かしてください。急な操作を行うと、転倒、転落、破損、けがをするおそれがあります。
- 修理などのご相談は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 安心、安全にお使いいただくために、1ヶ月に一度は定期点検を実施してください。（P9 参照）
- 車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

点検の実施

● 安心、安全にお使いいただくため、使用前に点検を実施してください。

点 検 項 目	対 処
フレームにひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
キャスターや駆動輪にひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
キャスターや駆動輪が摩耗していませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
走行操作はラクにできますか？	キャスター、駆動輪に髪の毛などが巻きついている場合は、取り除いてください。
駐車用ブレーキが両側ともしっかりかかりますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
背シートや座シートに汚れ、傷、破損などはありませんか？	面ファスナーに付いた糸くずや汚れは取り除いてください。粘着力が弱い場合は座シートを交換してください。
アームレストのはね上げや前方グリップの回転はラクにできますか？	はね上げや回転がしにくいなどの異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
クッション(アームレスト、前方グリップ)にキズや汚れはありませんか？	損傷が激しい場合はお買い求めの上、交換してください。
フットプレートにひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
ねじはゆるんでいませんか？	ゆるんだねじを締めてください。ねじが締まらないなど異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
折りたたみはラクにできますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠ 注意 ※車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品は介助が必要な方を対象にした商品です。
- 本製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品は1人用です。2人以上で使用しないでください。
- 本製品を浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。
- 温泉水や硫黄系の入浴剤をかけての使用はしないでください。塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがをすることがあります。
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損、事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 勢いをつけて段差を乗り越えないでください。破損したり、使用者が車椅子から転倒、転落し、けがをすることがあります。
- 段差を乗り越える際に、キャスターがまっすぐになっていることを確認してください。ななめや横になった状態で乗り越えると、キャスターの破損や事故の原因となるおそれがあり、大変危険です。
- 使用者が車椅子に乗っている状態で車椅子を持ち上げないでください。パイプが破損したり、使用者が転倒、転落、けがをすることがあります。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・ 戸外 ・ 雨に濡れるようなところ ・ 直射日光のあたる場所 ・ 冷暖房器具の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・ 潮風の当たるところ ・ ストープなど火気の近く ・ 高温多湿、低温な場所 ・ 風通しの悪い場所
- 車椅子を開く際は座面裏や下の可動部に手や指を入れないでください。はさんでけがをすることがあります。
- 車いすを開いた際は、座面が最後まで開ききったことを確認してください。
- Pタイル、フローリングなど、硬質で滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 駐車用ブレーキは必ず両側ともしっかり掛けてください。片側だけだと動きます。
- 駐車用ブレーキを掛けると駆動輪がしっかり固定されるか確認してください。ブレーキの利きが悪いと不意に動き、大変危険です。

商品廃棄方法 各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

MEMO

ウチワ株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372

関東営業所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312

福岡営業所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵庫工場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合がございます。予めご了承ください。

22.09.Ⅱ